

【鳴門市行政評価】

平成27年度事務事業評価シート(26年度実績)

◎基本情報

事務事業名	組織・機構の簡素合理化事業		担当部署	企画総務部 人事課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	鳴門市事務分掌組織条例	
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動みんなで創るまちづくり	事業 期間	開始	平成 <input type="text" value=""/> 10 年度
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち なんと			終期
(小項目)		行財政運営		未定 <input type="text" value=""/>	
施策	5	効率的・効果的な行財政運営の推進			
基本事業	4	適性な人事管理の推進			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 市の全組織														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	職員数の削減や地方分権等に対応するため、簡素で効率的な組織体制を構築する。														
事業計画	26年度に何を計画していたか	必要に応じ、組織・機構の見直しを行う。														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>部・課等の削減数</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	単位	部・課等の削減数	1	1				
指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	単位										
部・課等の削減数	1	1														

◎実施結果(DO)

事業実施内容	26年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	組織・機構の簡素合理化にあたっては、組織のスリム化を念頭に置いたうえで、地方分権の進展、職員数の削減、スーパー改革プラン等の実現に対応し、市民にわかりやすい組織づくりを目的に検討する。 具体的な方法としては、各所属長及び部長からヒアリングを実施し、再編案を検討する。																																			
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>25年度実績</th> <th>26年度実績</th> <th>27年度目標</th> <th>28年度目標</th> <th>29年度目標</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>活動指標 実施した事業の活動量を示す指標</td> <td>1</td> <td>組織・機構の見直しの実施</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標</td> <td colspan="2">部・課等の削減数</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">目標達成率(実績/目標)</td> <td>0.0</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>			指標名	25年度実績	26年度実績	27年度目標	28年度目標	29年度目標	単位	活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	組織・機構の見直しの実施						2						成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	部・課等の削減数		1	0	-	-		目標達成率(実績/目標)		0.0	-	-	%
指標名	25年度実績	26年度実績	27年度目標	28年度目標	29年度目標	単位																															
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	組織・機構の見直しの実施																																			
	2																																				
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	部・課等の削減数		1	0	-	-																															
	目標達成率(実績/目標)		0.0	-	-	%																															
今年度の進捗状況	未達成	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり																																		

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成26年度	当初予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	0	0	0	0	0	0
		決算額	0	0	0	0	0	0
		繰越額	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員(6,878千円/人)	臨時職員(2,023千円/人)		総人件費		総事業費	
		0.2	0.0		1,376		1,376	

事業費推移	年度	25年度決算	26年度決算	27年度	28年度	29年度
	事業費	—	0	0	0	0
	うち一般財源	—	0	0	0	0
	人件費		1,376	1376	1376	1376
	総事業費	—	1,376	1,376	1,376	1,376

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		所属長・部長ヒアリングを実施することにより、概ね有効性があったと考えられる。
	効率性	A:効率的だった		効率的な活動ができたと考えられる。
②成果に対する評価	指標名	部・課等の削減数		重要な行政課題に対応するため、業務執行体制の強化が不可欠であり、結果として、目標未達成となった。
	目標	1	0	
	実績	0	0	
	評価	D:目標を達成できなかった		
③総合的な評価		B		結果として目標に対して実績が伴わないことになったが、重要な行政課題への対応のための執行体制強化によるものであり、やむを得ないと考えられる。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	組織のスリム化を念頭に置いているが、行政課題や市民ニーズへの対応のため組織の新設等による執行体制の強化等の措置が必要となる場合があり、的確な状況の分析や判断が必要である。 組織の見直しによる効果が図りにくいため、見直し実施に対する適正な評価を行うことが難しい。 市民サービスの質を一定以上に維持できるのであれば組織の見直しは最小限にとどめ、市民にわかりやすい組織づくりに務める必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H27年度	組織のスリム化を念頭に置いた上で地方分権の進展、職員数の削減、スーパー改革プラン等の実現に対応し、また、市民にわかりやすい組織づくりを行うことを目的として、各所属長及び部長からヒアリングを実施し、再編案を検討する。			
	H28年度	H27年度と同様			